

教育ニュース「響学 共動」 No.5

今週の児童川柳 「運動会 待ちどおしいな 楽しいそう」(3年生)

平成22年5月18日

広島市立吉島小学校

5月にはいり、4年生は初めてのクラブ活動(地域の方のご協力を得て今年、茶道部を新設)、5・6年生は委員会活動が始まりました。クラブ活動や委員会活動は、児童の自主性・創造性を高めるとともに、問題解決力など自治的能力を育てることのできる場といわれています。加えて、児童が活動の内容・方法をP(計画)し、D(実践)→C(ふり返り)→A(改善)する過程を体験する・体験をなかまと共有することを通して、効力感や効用感を味わうことのできる場となるようです。まさにキャリア教育にもつながる活動なのです。

朝早くから校舎の前のローターにあるプランタの花に、愛情をこめて水をやる栽培委員会の子どもたち、図書室の読書環境を整え読書活動を奨励する図書委員会、校内放送で学校生活のリズム環境を整える放送委員会、休憩時間に飼育小屋の清掃や小動物に餌やりを行う飼育員会、伝統的な運動会演技「吉島音頭」や外遊び・群れ遊びを奨励する体育委員会、けが防止のポスターづくりやうがい・手洗いを奨励する保健委員会、給食時間に給食の準備・後かたづけの支援、食材等への関心を高めるための校内放送をする給食委員会。そして、児童朝会や空き缶集めを企画・奨励する運営委員会の子どもたち。ご家庭の協力を得て昨年185キロ集まった空き缶集めの活動は、今年も継続して行われています。5月13日(木)には、1日で12キロを超える空き缶が集まりました。その量に子どもたち以上に驚き、「わあ〜すごい!新記録じゃね」と喜びを表現される担当の先生。このように、これら活動の傍らには担当の先生の姿が。

感謝短歌 「あ〜ありがたや ありがたや 一人ひとりの活動が
吉島小に 笑顔と潤いの 花咲かす」

吉島タイム(朝学習)が本格化

毎週水曜日~金曜日の8時30分から15分間を、「吉島タイム」の時間とし、1年生から4年生は国語や算数の繰り返し学習を、5年・6年生は英語活動を行っています。例えば、1年・3年生の教室からは詩や諺などを音読する(豊かな言語感覚を養う)声や、2年・4年生の教室では計算問題に黙々とチャレンジする(計算方法の規則性を見いだす)姿が、5年・6年生の教室では英語科の時間に習った英語単語を音楽に合わせて楽しく復唱する(言語活動の楽しさを共有する)姿などが、ひまわり学級の教室でも児童は自分なりに目標をもって、意欲的に国語や算数の学習に取り組んでいます。本校では今後、この「吉島タイム」の学習を、学年に応じて内容を一層系統化・重点化し、児童一人ひとりの基礎学力の向上に取り組んでいきたいと考えております。

調理の学習もまた 生活への自立力を高める場

5年生にとって、家庭科の時間はこれまで未体験の学習時間。調理室の前を通りかかると、黒板に調理のレシピとともに、「安全に おいしく 協力して」と調理の心構えが板書されていました。調理室に入ると、包丁で慎重に果物を短冊状に切っている児童、お茶用のお湯を沸かすためににらめっこしながらガスの火加減を調節している児童、新鮮さを保つため輪切りにしたりんごを浸す器のなかの塩の量を加減している児童、友だちからアドバイスをもらいながらもりつけに自分なりの美を追求している児童たち。



児童の姿にはややたどたどしい様子がみられますが、この姿が学習に真正面から向かい合っている証なのです。感心したひとときでした。

